

○秋田大学国際資源学部規程

(平成 26 年 3 月 27 日学長裁定第 202 号)

改正 平成 27 年 3 月 27 日一部改正 平成 28 年 3 月 9 日一部改正
平成 28 年 3 月 3 日一部改正

(総則)

第 1 条 秋田大学国際資源学部(以下「本学部」という。)における組織並びに教育課程及び履修方法等については、秋田大学学則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(目的)

第 2 条 本学部は、地球の資源・エネルギー問題の解決を目指し、資源を網羅的かつ多角的に学び、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源技術と将来の資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成することを目的とする。

(副学部長)

第 3 条 本学部に副学部長を置き、国際資源学研究科の専任の教授をもって充てる。

2 副学部長は、国際資源学部長(以下「学部長」という。)が指名する。

(学科及びコース)

第 4 条 本学部に、国際資源学科を置く。

2 前項の学科に次のコースを置く。

資源政策コース

資源地球科学コース

資源開発環境コース

3 前項のコースにコース長を置き、国際資源学研究科の専任の教授をもって充てる。

4 コース長は、学部長が指名する。

(教育課程及び履修方法)

第 5 条 本学部において履修すべき教養教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の履修方法は、別表 1 から別表 5 のとおりとする。

(履修科目の登録)

第 6 条 学生は、履修しようとする授業科目について、学年の始めの指定する期日までに、所定の様式により、学部長に届け出なければならない。

(履修科目の登録の上限)

第 7 条 学生が卒業するために必要な授業科目として履修登録できる単位数の上限は、別に定める授業科目を除いて、各学期で 24 単位とする。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生についての単位数の上限は、別に定める。

(授業科目修了の認定)

第 8 条 授業科目修了の認定は、試験による。試験は、筆記試験その他の方法で行う。

- 2 授業科目修了試験は、学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外に行うことができる。
- 3 平素出席しない授業科目の修了試験は、受けることができない。
- 4 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない者又はできなかった者は、願い出の上、追試験を受けることができる。
- 5 その他試験に関し必要な事項は、別に定める。

(成績)

第9条 試験の成績は、S, A, B, C, Dの5種の評語をもって表わし、S, A, B, Cを合格とする。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、国際資源学研究科カウンスル規程によって定める。

- 2 前項に関わらず、授業科目修了の認定及び成績等に関する事項は、本学部教授会で定めることができる。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月27日一部改正)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月9日一部改正)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月3日一部改正)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

別表1 教養教育科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	備考
初年次ゼミ	初年次ゼミ	2	
主題別科目 (現代社会)	教養ゼミナール1	1	
	教養ゼミナール2	2	
	くらしと法	2	
	日本国憲法	2	
	現代社会と法	2	
	現代社会と経済Ⅰ	2	
	現代社会と経済Ⅱ	2	
	現代社会と経済Ⅲ	2	
	現代社会と政治	2	
	マクロ経済学入門	2	
	日本と諸外国の政治Ⅰ	2	
	日本と諸外国の政治Ⅱ	2	
	国際政治経済	2	
	社会と家族	2	
	大学生活と学習	2	
	倫理リテラシー	2	
	男女共同参画社会論	1	
フィールド情報学入門	2		
主題別科目 (人間と文化)	教養ゼミナール1	1	
	教養ゼミナール2	2	
	心理学Ⅰ	2	
	心理学Ⅱ	2	
	人間関係論Ⅰ	2	
	人間関係論Ⅱ	2	
	文学論	2	
	日本の近代文学	2	
	日本語表現の諸相	2	
	日本の古典文学	2	
	教育学Ⅰ	2	
	教育学Ⅱ	2	
	芸術と文化Ⅰ	2	
	芸術と文化Ⅱ	2	
	芸術と文化Ⅲ	2	
	情報デザイン入門	2	
	倫理と人間	2	
	欧米の歴史	2	
	科学史・科学哲学	2	
	科学史入門	2	
	障害と共生Ⅰ	2	
	障害と共生Ⅱ	2	
	人権と共生	1	
	多文化コミュニケーション入門Ⅰ	2	
	多文化コミュニケーション入門Ⅱ	2	
	多文化間交流論Ⅰ	2	
	多文化間交流論Ⅱ	2	
	日本文化入門Ⅰ	2	
	日本文化入門Ⅱ	2	
	日本社会入門Ⅰ	2	
	日本社会入門Ⅱ	2	
	日本語教育学入門Ⅰ	2	
日本語教育学入門Ⅱ	2		
主題別科目 (科学の探究)	教養ゼミナール1	1	
	教養ゼミナール2	2	
	自然環境と資源Ⅰ	2	
	自然環境と資源Ⅱ	1	
	天体観測入門	1	
	地球の環境と資源Ⅰ	2	
	地球の環境と資源Ⅱ	1	
	環境と社会	1	
ライフサイエンスⅠ	2		

	ライフサイエンスⅡ	1
	衣生活の科学	2
	化学の世界	1
	材料の世界	1
	情報工学の世界	1
	コンピュータの科学	2
	コンピュータシミュレーション入門	2
	星の世界	2
	自然環境と住まい	2
	資源循環と科学	1
主題別科目 (生活と保健)	教養ゼミナール1	1
	教養ゼミナール2	2
	食と健康	2
	医学と健康Ⅰ	1
	医学と健康Ⅱ	1
	医学と健康Ⅲ	2
	医学と健康Ⅳ	2
	がん医療と緩和ケア	2
	大学生と健康	2
	生命と健康Ⅰ	1
	生命と健康Ⅱ	1
	がん治療	2
	外科手術と手術機器の進化	2
	グローバル・ヘルスとトラブル・メディスン	1
主題別科目 (地域社会)	教養ゼミナール1	1
	教養ゼミナール2	2
	社会と地域	2
	地理と地誌Ⅰ	2
	地理と地誌Ⅱ	2
	地域と食文化	2
	秋田の歴史	1
	秋田の自然と文化	1
	防災学基礎Ⅰ	1
	防災学基礎Ⅱ	1
	農村と人々の暮らし	2
主題別科目 (技能の活用)	教養ゼミナール1	1
	教養ゼミナール2	2
	日本語リテラシーⅠ	2
	日本語リテラシーⅡ	2
	コミュニケーショントレーニング	1
	秋田大学論	1
	情報と知識・技術Ⅰ	1
	情報と知識・技術Ⅱ	1
	フィールド活動の基礎	2
	キャリアデザイン基礎	1
	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	キャリアデザイン総論	2
	「起業力」養成ゼミナール	2
	留学生のための課題研究Ⅰ	2
	留学生のための課題研究Ⅱ	2
	海外短期研修	2
	鉱業博物館業務体験	1
主題別科目 (認定科目)		
国際言語科目 (入門外国語)	ドイツ語Ⅰ	2
	フランス語Ⅰ	2
	ロシア語Ⅰ	2
	中国語Ⅰ	2
	朝鮮語Ⅰ	2
	日本語1	4
国際言語科目	文系英会話	2

(外国語活用演習)	理系英会話	2	
	英語特別演習	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	ロシア語Ⅱ	2	
	中国語Ⅱ	2	
	朝鮮語Ⅱ	2	
	日本語2	4	
	日本語2総合	1	
	ドイツ語会話Ⅰ	1	
	ドイツ語会話Ⅱ	1	
	フランス語会話Ⅰ	1	
	フランス語会話Ⅱ	1	
	ロシア語会話Ⅰ	1	
	ロシア語会話Ⅱ	1	
	中国語会話Ⅰ	1	
	中国語会話Ⅱ	1	
	朝鮮語会話Ⅰ	1	
	朝鮮語会話Ⅱ	1	
	実践ドイツ語会話Ⅰ	1	
	実践ドイツ語会話Ⅱ	1	
	実践中国語会話Ⅰ	1	
	実践中国語会話Ⅱ	1	
	実践朝鮮語会話Ⅰ	1	
	実践朝鮮語会話Ⅱ	1	
	実践フランス語会話Ⅰ	1	
	実践フランス語会話Ⅱ	1	
	実践ロシア語会話Ⅰ	1	
	実践ロシア語会話Ⅱ	1	
	日本語3	4	
	日本語3総合	1	
	国際言語科目 (文献講読)	社会心理学外国語文献演習	1
		臨床心理学外国語文献演習	1
生理心理学外国語文献講読Ⅰ		1	
生理心理学外国語文献講読Ⅱ		1	
発達心理学外国語文献演習		1	
認知心理学外国語文献演習		1	
科学教育文献講読		2	
国際言語科目 (日本語)	日本語4－Ⅰ	2	
	日本語4－Ⅱ	2	
	日本語4－Ⅲ	2	
	日本語4－Ⅳ	2	
	日本語4－Ⅴ	1	
	日本語4－Ⅵ	1	
	日本語5－Ⅰ	1	
	日本語5－Ⅱ	1	
	日本語5－Ⅲ	1	
	日本語5－Ⅳ	1	
	日本語5－Ⅴ	1	
	日本語5－Ⅵ	1	
	日本語5－Ⅶ	1	
	日本語5－Ⅷ	1	
	日本語5－Ⅸ	1	
	日本語5－Ⅹ	1	
国際言語科目 (認定科目)			
スポーツ文化科目	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	
	スポーツ理論Ⅰ	2	
	スポーツ理論Ⅱ	1	

注) 他大学等で修得した単位は、主題別科目に4単位まで本学部において履修したものとみなし、単位を与えることができる。

別表2 基礎教育科目

授業科目の名称	単位数	資源政策コース	資源地球科学コース	資源開発環境コース
I-EAP I	1	◎	◎	◎
I-EAP II	1	◎	◎	◎
I-EAP III	1	◎	◎	◎
I-EAP IV	1	◎	◎	◎
I-EAP V	1	◎	◎	◎
I-EAP VI	1	◎	◎	◎
国際資源外交史	2	○	○	○
異文化コミュニケーション	2	○	○	○
資源開発と人権問題	2	○	○	○
基礎資源経済学	2	○	○	○
日本の国際協力	2	○	○	○
基礎数学(資源政策)	2	◎	—	—
基礎数学 I	2	○	◎	◎
基礎数学 II	2	○	◎	◎
基礎数学 III	2	○	◎	◎
基礎数学 IV	2	○	○	○
基礎数学 V	2	○	○	○
基礎物理学(資源政策)	2	○	—	—
基礎物理学 I	2	—	◎	◎
基礎物理学 II	2	○	○	○
基礎物理学実験	1	○	◎	◎
基礎化学(資源政策)	2	○	—	—
基礎化学 I	2	—	◎	◎
基礎化学 II	2	○	○	○
基礎化学 III	2	○	○	○
基礎化学実験	1	○	◎	◎
基礎統計学	2	○	○	○

注1 ◎印は必修科目, ○印は選択科目, —印は開講しない科目を表す。

注2 資源政策コースは, 次の科目から8単位以上修得すること。
国際資源外交史, 異文化コミュニケーション, 資源開発と人権問題, 基礎資源経済学, 日本の国際協力

注3 資源政策コースは, 基礎物理学(資源政策), 基礎化学(資源政策), 基礎統計学から2単位以上修得する

注4 資源地球科学コース及び資源開発環境コースは, 次の科目から8単位以上修得すること。
基礎数学IV, 基礎数学V, 基礎物理学II, 基礎化学II, 基礎化学III

別表3 専門教育科目

1.学部共通科目

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
国際関係論概論		2	} 2単位以上修得すること。
資源地域社会学概論		2	
地球科学概論		2	} 2単位以上修得すること。
資源地質学概論		2	
資源開発環境学概論	2		
国際情勢特別講義		1	
資源学実習	1		
国際資源クリエイティブ演習	1		
海外資源フィールドワーク	4		
ディスカッション演習		1	} 1単位以上修得すること。
ディベート演習		1	

2.資源政策コース専門科目

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
資源政策論	2		
国際法学	2		
比較政治論		2	
国際情勢分析論	2		
国際協力論		2	
開発経済学		2	
文化人類学		2	
鉱業法	2		
資源契約論		2	
交渉学		2	
資源動向論		2	
石油資源論		2	
エネルギー地政学		2	
オペレーションリスクマネジメントⅠ－HSE－	1		
オペレーションリスクマネジメントⅡ－危機管理学－		1	
資源環境経済学	2		
資源プロジェクトマネジメント		2	
国際経営論		2	
企業会計論	2		
ファイナンス		2	
社会調査法Ⅰ		2	
社会調査法Ⅱ		2	
資源地域研究(アフリカ)		2	
資源地域研究(東南アジア)		2	
資源地域研究(中東・西アジア)		2	
資源地域研究(オセアニア)		2	
応用資源地域研究(イスラム社会史)		2	
応用資源地域研究(資源開発とコミュニティ)		2	
応用資源地域研究(中央アジア・北アジア)		2	
複文化社会研究Ⅰ		2	
複文化社会研究Ⅱ		2	
文化間メディアーション論Ⅰ	2		
文化間メディアーション論Ⅱ		2	
人的資源管理論		2	
資源政策特別講義Ⅰ		1	
資源政策特別講義Ⅱ		1	
資源政策特別講義Ⅲ		1	
資源政策特別講義Ⅳ		1	
国際協力特別講義		2	
資源地域研究特別講義		2	
資源企業財務・経理特別講義		1	
専門プレゼンテーション技法(資源政策)	1		
地史学		2	} (a) 2単位以上修得すること。
地質図学		2	
石油地質学Ⅰ		2	(b)
金属鉱床学Ⅰ		2	(b)
岩石学Ⅰ		2	(b)
資源地球科学特別講義Ⅳ		1	(b)
資源開発環境学特別講義Ⅰ		1	} (c) 2単位以上修得すること。
資源開発環境学特別講義Ⅱ		1	
資源開発環境学特別講義Ⅳ		1	
資源開発生産論		2	
資源循環学		1	
リサイクルシステム学		1	
鉱業史		2	
卒業課題研究プレゼミ	2		
研究プロポーザル(資源政策)	2		
卒業課題研究(資源政策)	8		

注 (a)～(c)から6単位以上修得すること。

3.資源地球科学コース専門科目

授業科目の名称	単位数		備考	
	必修	選択		
地史学	2			
地質図学	2			
石油地質学Ⅰ	2			
石油地質学Ⅱ		2	(a)	
古環境解析学		2	(a)	
堆積学	2			
構造地質学		2		
石油探査学		2		
応用古生物学		2		
古生物学実験	1			
石油鉱床学実験	1			
地史解析学実験		1		
鉱物学	2			
金属鉱床学Ⅰ	2			
金属鉱床学Ⅱ		2	(a)	
X線結晶学	2			
応用金属鉱床学		2		
応用鉱物学		2		
鉱物学実験	1			
金属鉱床学実験	1			
岩石学Ⅰ	2			
岩石学Ⅱ		2	(a)	
応用岩石学		2		
岩石学実験	1			
岩石鉱物鉱床実験		1		
資源地球科学文献講読Ⅰ	1			
資源地球科学文献講読Ⅱ	1			
専門プレゼンテーション技法(資源地球科学)	1			
地質調査法実習A	2			
進級論文	4			
リモートセンシング地質学		1	3単位以上修得すること。	
炭酸塩岩調査法		1		
資源地球科学特別講義Ⅰ		1		
資源地球科学特別講義Ⅱ		1		
資源地球科学特別講義Ⅲ		1		
資源地球科学特別講義Ⅳ		1		
防災地質学		1		
資源政策論		2		
国際法学	2			必修科目を除き、2単位以上修得すること。
国際情勢分析論		2		
鉱業法		2		
オペレーションリスクマネジメントⅠ－HSE－		1		
オペレーションリスクマネジメントⅡ－危機管理学－		1		
資源環境経済学		2		
資源政策特別講義Ⅳ		1		
材料力学		2		
流体力学		2		
物理化学		2		
地球物理学	2		必修科目を除き、4単位以上修得すること。	
物理探査学Ⅰ		2		
物理探査学Ⅱ		2		
岩石力学		2		
地球化学Ⅰ	2			
地球化学Ⅱ		2		
資源処理工学		2		
資源循環学		1		
火薬学		2		
資源開発環境学特別講義Ⅳ		1		
測量学および実習Ⅰ		3		
測量学および実習Ⅱ		3		
研究プロポーザル(資源地球科学)	2			
卒業課題研究(資源地球科学)	8			

注 (a)から6単位以上修得すること。

4.資源開発環境コース専門科目

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
材料力学	2		
流体力学	2		
物理化学	2		
分析化学		2	
地球物理学	2		
工業製図		2	
物理探査学Ⅰ		2	
物理探査学Ⅱ		2	
資源探査学		2	
石油工学		2	
計算機プログラミング		1	
熱工学		2	
地熱工学		2	
岩石力学		2	
岩盤工学		2	
測量学および実習Ⅰ		3	
測量学および実習Ⅱ		3	
地球化学Ⅰ	2		
地球化学Ⅱ		2	
粉体・界面工学		2	
資源処理工学	2		
リサイクル・廃水処理工学		2	
製錬プロセス工学		2	
素材開発工学		2	
工学基礎実験	1		
資源開発環境実験Ⅰ	2		
資源開発環境実験Ⅱ	2		
資源開発環境文献講読	1		
専門プレゼンテーション技法(資源開発環境)	1		
資源開発環境学特別講義Ⅰ		1	
資源開発環境学特別講義Ⅱ		1	
資源開発環境学特別講義Ⅲ		1	
資源開発環境学特別講義Ⅳ		1	
資源開発生産論		2	
資源循環学		1	
火薬学		2	
リサイクルシステム学		1	
鉱業史		2	
鉱業法		2	
資源契約論		2	
資源動向論		2	
石油資源論		2	
オペレーションリスクマネジメントⅠ－HSE－		1	
オペレーションリスクマネジメントⅡ－危機管理学－		1	
資源環境経済学	2		
資源プロジェクトマネジメント		2	
資源政策特別講義Ⅳ		1	
地史学	2		
地質図学		2	
石油地質学Ⅰ		2	
構造地質学		2	
石油探査学		2	
鉱物学		2	
金属鉱床学Ⅰ	2		
岩石学Ⅰ		2	
資源地球科学特別講義Ⅳ		1	
地質調査法実習B		2	
リモートセンシング地質学		1	
防災地質学		1	
研究プロポーザル(資源開発環境)	2		
卒業課題研究(資源開発環境)	8		

(学部外科目)			
物質情報処理学		2	
品質管理		2	
金属材料工学概論		2	
機械工学概論 I		2	
電気工学概論		2	
電子工学概論		2	
電気・電子実験		1	
制御システム工学		2	
コンピュータアーキテクチャ		2	
応用物理学概論		2	
応用数学 I		2	
応用数学 II		2	
確率統計		2	
数理計画法		2	
数値計算		2	
技術史		2	

別表4-1 2年次以降の授業科目を履修するために1年次において修得しなければならない指定科目及び単位数

コース名 科目区分	資源政策コース	資源地球科学コース	資源開発環境コース
教養教育科目	初年次ゼミ 2	初年次ゼミ 2	初年次ゼミ 2
基礎教育科目		基礎物理学実験 1 基礎化学実験 1	基礎物理学実験 1 基礎化学実験 1
専門教育科目	資源学実習 1 国際関係論概論 } または 2 資源地域社会学概論 }	地球科学概論 } または 2 資源地質学概論 }	資源学実習 1 資源開発環境学概論 2
計			7単位以上
合計	32単位以上	32単位以上	32単位以上

別表4-2 3年次以降の授業科目を履修するために2年次において修得しなければならない指定科目及び単位数

コース名 科目区分	資源政策コース	資源地球科学コース	資源開発環境コース
教養教育科目	初年次ゼミ 2	初年次ゼミ 2	初年次ゼミ 2
計	14単位以上	14単位以上	14単位以上
基礎教育科目	I-EAP I ~ VI 6	I-EAP I ~ VI 6 基礎物理学実験 1 基礎化学実験 1	I-EAP I ~ VI 6 基礎物理学実験 1 基礎化学実験 1
計	14単位以上	26単位以上	26単位以上
専門教育科目	資源学実習 1 国際関係論概論 } または 2 資源地域社会学概論 } 地球科学概論 } または 2 資源地質学概論 } 資源開発環境学概論 2	地球科学概論 } または 2 資源地質学概論 }	資源学実習 1 資源開発環境学概論 2
計	36単位以上	24単位以上	24単位以上
合計	64単位以上	64単位以上	64単位以上

別表4-3 4年次以降の授業科目を履修するために3年次において修得しなければならない指定科目及び単位数

コース名 科目区分	資源政策コース	資源地球科学コース	資源開発環境コース
教養教育科目	初年次ゼミ 2	初年次ゼミ 2	初年次ゼミ 2
計	14単位以上	14単位以上	14単位以上
基礎教育科目	I-EAP I ~ VI 6	I-EAP I ~ VI 6 基礎物理学実験 1 基礎化学実験 1	I-EAP I ~ VI 6 基礎物理学実験 1 基礎化学実験 1
計	18単位以上	28単位以上	28単位以上
専門教育科目	資源学実習 1 国際関係論概論 } または } 2 資源地域社会学概論 } 地球科学概論 } または } 2 資源地質学概論 } 資源開発環境学概論 } 2 ディスカッション演習 } または } 1 ディベート演習 } 専門プレゼンテーション技法 1 国際資源クリエイティブ演習 1 海外資源フィールドワーク 4 卒業課題研究プレゼミ 2	進級論文 4 3年次までの必修科目 30	ディスカッション演習 } または } 1 ディベート演習 } 国際資源クリエイティブ演習 } 1 海外資源フィールドワーク } 4 コース専門科目のうち3年次までの必修科目 } 18
計	72単位以上	64単位以上	60単位以上
合計	106単位以上	106単位以上	106単位以上

注 資源開発環境コースにおいては、平成26年4月以降に入学した学生にも適用する。

別表5 卒業に必要な最低単位数

授業科目 コース名	教養教育科目					基礎教育科目	専門教育科目	計
	初年次ゼミ	主題別科目	国際言語科目	スポーツ文化科目	計			
資源政策コース	2単位	12単位 ※			14単位	18単位	92単位	124単位
資源地球科学コース						28単位	82単位	
資源開発環境コース								

※主題別科目は「グローバル・ヘルスとトラベル・メディスン」を必修とする。